

1. 令和5年度事業報告書

公益財団法人服部植物研究所

公益目的（研究）事業

I. 蘚苔・地衣類の研究

1. 蘚苔類の多様性と分類についての研究

(1) 日本産カリフォルニアテガタゴケ (*Ptilidium californicum*) について分子系統解析及び形態学的検討を行い、その研究成果を発表した。(論文1件)

(2) 日本産アイバゴケ属 (*Plichanthus*) の分類学的研究を進め、研究成果を発表した。(論文1件)

(3) アサカワホラゴケモドキ (*Calypogeia asakawana*) の分類学的地位について研究し、新属 *Protocalypogeia* を発表した。(論文1件)

(4) 東アジア産 *Didymodon schensianus* (Pottiaceae センボンゴケ科) の類似種とその関係について研究し、その成果を発表した。(論文1件)

(5) コロンビア産 *Leiomitra robusta* (Trichocoleaceae ムクムクゴケ科) の形態学的研究の成果を発表した。(論文1件)

(6) *Trichocolea hatcheri* (Trichocoleaceae ムクムクゴケ科) の旧学名とレクトタイプに関しての研究成果を発表した。(論文1件)

(7) コケ植物化石 *Metzgeriothallus metzgerioides* の研究を進め、研究成果を発表した。(論文1件)

(8) ジンガサゴケ科 Aytoniaceae の系統発生学的及び形態学的研究を行い、新亜科 *Calasterelloideae* および新属 *Calasterella* を発表した。(論文1件)

(9) カラヤスデゴケ *Frullania muscicola* の葉緑体に関して研究成果を発表した。(論文1件)

(10) 屋上緑化のための、コケの選択と下地についての調査結果を報告した。(論文1件)

(11) 植物標本コレクションにおける多様性と歴史について、世界の標本庫からの調査回答を評価分析し報告した。(論文1件)

(12) 分子データによるミドリゼニゴケ属 *Aneura* (スジゴケ科 Aneuraceae) の研究を進め、研究成果を発表した。(論文1件)

(13) ゼニゴケ科 Marchantiaceae における新たな分類学的形質について、研究成果を発表した。(論文1件)

(14) 中国におけるゼニゴケ科 Marchantiaceae の分類学的新知見について、研究成果を発表した。(論文1件)

(15) *Marchantia formosana* (ゼニゴケ科 Marchantiaceae) の新産地と東アジアのゼニゴケ科 Marchantiaceae の検索表 (key) の更新を行った。(論文1件)

(16) 日本新産のタイ類の研究と報告を行った。(論文2件)

(17) 蘚苔類の研究成果に関して、国内外の学会・シンポジウムで8件の発表を行った。(国内7件・国外【中国】1件)

2. 地衣類の多様性と分類についての研究

(1) 四国四万十川で見つかった淡水生地衣類の新種 *Psorotichia yoshimurae* についての研究成果を発表した。(論文1件)

(2) 小笠原で見つかった藍藻地衣類の新種 *Physma boninense* についての研究成果を発表した。(論文1件)

(3) 日本の海岸性地衣類のうち大型の19種について図解と記載を行った。

(4) 千葉県産の標本に基に、ツブノリ科 Lichinaceae の *Phloeopeccania japonica* を新種として記載した。(論文1件)

(5) 千葉県新産のドロヒメカワイタケ *Placidium squamulosum* について研究成果を発表した。(論文1件)

(6) 石灰岩生地衣類 (3) として、広義イワノリ属 (*Collema* s. lat.) について記載した。

(7) 日本地衣類誌 (10) として、カタマリゴケ *Spilonema revertens* について記載した。

3. 蘚苔類の希少種および絶滅危惧種に関する研究

(1) 日本および周辺地域に分布する希少種および絶滅危惧種に関する多様性・系統分類・分布の調査・研究を行い、研究成果を発表した。(論文2点)

II. 蘚苔・地衣類のデータベース作成

1. エキシカータ (3,150点) のデータベース作成を進め、公開に向けてすべての登録作業を終えた。
2. 研究所所蔵の蘚苔類タイプ標本 (約4,100点) のデータベースをホームページ上で公開した。
3. 日本産蘚類、苔類、地衣類のチェックリスト改訂に向け、令和5年度になされた分類学的変更について整理した。

III. 資料の収集・整理及び普及活動

1. 現地調査・交換・受入により、内外の蘚苔・地衣類の資料を収集した。
 - (1) 蘚苔類の標本1,118点(国内223点、外国895点)を収集・登録した。
 - (2) 地衣類の標本6,587点を登録した。
 - (3) 購入・寄贈・交換により蘚苔・地衣類関係の文献72点(購入24点、寄贈11点、交換25点、会報誌12点)を入手した。
 - (4) 国内外の研究施設へ標本の寄贈を行った。(2件:国立科学博物館、USA アラスカ大学)
2. 蘚苔・地衣類関係の資料(標本、図書、別刷など)の整理を続けた。
 - (1) 本年度収集された標本7,223点の仕分けを最新の分類体系・地域に従って行った。
 - (2) 本年度までに返却・寄贈された未仕分け標本の仕分けを続けた。
 - (3) 収納済み標本の仕分け見直しを引き続き行った。
 - (4) 国内及び外国産蘚苔類標本の整理・まとめ及び標本移動を行った。
 - (5) 研究論文原稿蔵書の整理を行った。
 - (6) 高知分室の標本の整理を行い、十文字資料館に移動した。
3. 研究者の要請に応じ、標本の貸出(国外2件6点)を行った。
4. 研究活動の充実・発展及び社会に開かれた研究所として市民の生涯学習活動を支援する目的で、一般より市民研究員(2名)を受け入れ、所属研究員と協力して蘚苔類に関する調査研究を行った。
5. 蘚苔・地衣類学の発展及び普及のため。また、服部植物研究所の研究活動に関する情報を知ってもらうために常設展示場を設け、所蔵資料や研究成果等の展示・説明を行った。年間の入場者数は3,232人であった。
6. 展示場においてコケに関する書籍、物品の販売を行った。
7. ホームページ(日本語版・英語版)の更なる充実を図り、国内外の研究者及び一般の方に向けて情報を発信した。アクセス数は12,945であった。
8. 資料へのアクセスや研究への利用状況の情報把握を行った。
 - (1) J-STAGEに掲載されているHattoria (Vol. 1-14)へのアクセス数は4,887(英2,778・日2,109)(前年度比-276)、論文PDFのダウンロード数は6,379(前年度比+1,152)、財団法人服部植物研究所報告(The Journal of the Hattori Botanical Laboratory) (No.1-20, 41-100)へのアクセス数は5,430(英2,754・日2,676)(前年度比-1,217)、論文PDFのダウンロード数は49,165(前年度比+394)、蘚苔地衣雑報(Vol. 6-9)へのアクセス数は2,850(英598・日2,252)(前年度比-745)、論文PDFのダウンロード数は6,910(前年度比+2,095)であった。
 - (2) 植物分類学に関連する主要な学術専門誌に掲載された論文のうち、研究所が発行した雑誌及び書籍が引用されている論文は47編、研究所の標本が引用されている論文は3編であった。
9. 内外の研究者及び同好者の要請に応じ、蘚苔・地衣類標本の同定(3件10点)を行った。
10. 自然保護及び蘚苔・地衣類を対象とした学術研究活動の発展に貢献するため、自然観察会、講演会、その他の普及活動を行った(13件)。
 11. 各種メディアへの対応を行った(10件)。
 12. 日南市飢肥城下町保存会「あゆみちゃんマップ」食べ歩き・まち歩きに参加協力した。

13. 第6回コケ幹細胞研究会を共催、開催した。(会場：日南市小村寿太郎記念館及び服部植物研究所) 全国から25名の研究者が参加するとともに、オンラインで28名が研究発表を視聴した。

IV. 研究成果の出版と販売

1. Hattoria Vol. 14の編集、出版を行った。
2. Hattoria Vol. 14のJ-STAGE登載及び無料公開を行った。
3. 財団法人服部植物研究所報告(The Journal of the Hattori Botanical Laboratory)及びHattoriaバックナンバーの販売を行った。
4. 財団法人服部植物研究所報告No. 41-50のJ-STAGE登載及び無料公開を行った。
5. 蘚苔地衣雑報Vol. 6のJ-STAGE登載及び無料公開を行った。
6. 「服部植物研究所が所蔵している苔類とツノゴケ類の、タイプ標本集の補遺」出版の準備を行った。
7. 「地衣分類形質としての二次代謝産物の簡易同定と日本産地衣類の科学分類」の出版準備を行った。

その他の事業

1.1 収益事業

- ・土地の賃貸による収益事業をおこなった。
- 1). 基本財産である宮崎県延岡市川島町の宅地をローソンに賃貸した。
- 2). 基本財産である宮崎県日南市飢肥6丁目の宅地を駐車場(のべ60台)として賃貸した。

1.2 山林事業

- 1). 所有山林の管理を行った。
- 2). 所有分取林の売却を行った。

1.3 寄付金募集

・寄付金をホームページで募った他、様々な機会に寄付のお願いをした。また、展示場に寄付金箱を設置し入館者に対して寄付を募った。

2. 財団運営

2.1 理事会の開催

- ・令和5年6月10日(土)
議題・令和4年度事業報告書、収支決算書及び財産目録の承認の件
- ・令和6年3月16日(土)
議題・令和6年度事業計画(案)及び収支予算(案)承認の件

2.2 評議員会の開催

- ・令和5年6月25日(日)
議題・令和4年度事業報告書、収支決算書及び財産目録の承認の件
- ・令和6年3月24日(日)
議題・令和6年度事業計画(案)及び収支予算(案)承認の件